



## VOICE

## へき地医療を感じるならここ！大間を好きになる3日間

中村あるる  
(3年・青森県・地域枠)

来てみて現場を見て、たくさん感動する部分があると思います。知識が足りずに分からなくても、先生方が学生のレベルに対応してくれます。なので低学年こそ参加してほしいと思います。院長の先生含め、大間病院は若い世代の先生が多く、とても話しやすい雰囲気です。お寿司を食べたりBBQしたりすることもあるので、大間を好きになる3日間です。

## どうしてその実習先を選びましたか？

## 将来は大間で

昨年の実習で初めて大間病院を訪れました。その3日間では、大間病院の先生方の高いスキルや、へき地ならではの包括的な診療に強く関心を持ちました。そして病院全体に活気もあり、「将来ここで働きたい」と思うようになりました。そのため今年も大間病院を希望しました。また、2年次と同じ病院で実習することで、この1年間の学びを経て、自分の見え方や感じ方がどのように変わるのかを体験したいと思い、大間に行くことを決めました。

## 実習先の良かったところは？

## 成長を感じられた実習

大間病院は地域の人たちだけで成り立っているからこそ、顔見知りの距離感を感じられます。学生は基本的によそ者ですが、ここには学生を快く受け入れてくれる雰囲気があります。2年生のときは、へき地医療の雰囲気を知ることが中心でしたが、3年生になって大間病院に来てみると、診療で使われる知識が分かるようになり、先生と一緒に病態を考えられるようになりました。同じ環境に行くことで自分の成長を分かりやすく感じられました。



## 実習の流れ

## 大間病院の実習スケジュール

## 総合診療・地域医療実習

## 午前

## 病棟回診・外来の見学

- 病棟回診
- 外来見学
- 内視鏡検査の見学
- 超音波検査の見学
- 薬局見学

外来見学では、先生のハツラツ元気な対応を学びました！患者さんの血圧管理について、ほめたたえていて新鮮でした。患者さんのモチベーション維持の大切さを知りました。

薬局に突然お邪魔しましたが、快く歓迎していただき、薬剤師さんが薬を処方する一部始終を見学させていただきました。スタッフさんがみなさん学生の見学に好意的に迎えてくださり、とても嬉しかったです！

## 午後

## 出張診療

- 特別養護老人ホームへの出張診療
- 福浦診療所への出張診療
- カンファレンス（写真見せ）



福浦診療所へいらっしゃる患者さんは、みなさん親戚同士で、地域の特性を感じました。診療所内が親戚の集まりになっていて、とても面白かったです。

夜は先生方と大間のお祭りにも行きました！BBQは研修医の先生の送別会に合わせていたり大間を楽しみ尽しました！

# Q & A

## 実習参加者の声

### Q1. どのような医師になりたいですか？

感染症の診療ができる総合診療医を目指しています。

### Q2. 最初に立てた目標は？

将来、自分が大間病院で働く姿を具体的に思い描けるようにすることです。昨年の実習では臨床について学んでおらず、分からないことも多かったです。今年は臨床の知識を身につけ始めたので、先生方の診療や行動の意味を理解できるようになることを目指しました。

### Q3. 大間病院までのアクセスは？

弘前駅から下北駅まで電車で約3時間、下北駅からは病院まで事務の方に車で1時間ほど送迎してもらいました。遠いので大間病院で前泊と後泊をしました。

### Q4. 実習に向けて準備したことは？

特別準備はしていませんが、授業でやった内容など疾患について少しでも多く知識があると、より有意義な3日間の実習を過ごせると思います。

### Q5. 宿泊場所はどんなところ？

昨年建てられた新築の寮に滞在しました。調理器具や家具など一通りそろっていますが、ハンドソープやタオルなど、無いものもあります。

### Q6. 食事はどうしましたか？

食事はスーパーや病院で購入しました。昼食は支給されますし、夕食は先生にご馳走になることもありました。

### Q7. 食費はどれくらいかかりましたか？

1日あたり500円くらいでした。

### Q8. 持ち物は？

実習着(KC)とアーリーで使用した白い靴、メモ帳とボールペンを持参しました。

### Q9. 衣類以外の持ち物は？

バスタオル、ハンドタオル、ハンドソープやアメニティ類を持参しました。

